

内裏百番歌合 建保四年

歌合 建保四年閏六月九日

二十九番 左勝

左衛門尉康光

ぬれつつも消えせぬものは夏草の

草葉にもゆるよひのともし火

右

行能

うたたねもふすほどすずし長き夜に

蛩みだれて秋ぞちかづく

三十六番 左

家衡

秋ちかき月のかつらの川上に

蛩とびかふかがりびのかげ

右

範宗

こたへねどそれとはみえぬたそかれや

をちかた人の夕貌の花

左歌、右方少少雖出不審非殊難

右歌よろしきよし両方共に申して為勝